

研究課題名	多剤耐性菌感染症の実態を明らかにする多施設研究ネットワーク
研究責任者	馬渡 桃子
研究機関名	日本赤十字社医療センター 感染症科 研究代表施設: 国立国際医療研究センター
研究目的と意義	<p>抗生剤の治療効果がなくなる薬剤耐性菌による感染症は重要な問題となっていますが、この中でも特に世界的に脅威として認識されているのが治療の切り札であるカルバペネム系抗菌薬に耐性を示す菌です。しかし日本国内でカルバペネム耐性菌に感染した場合にどのような感染症を発症し、どのくらいの危険性があるかを示すデータは極めて少ないのが現状です。そこで本研究では研究ネットワークを創設しカルバペネム耐性菌が検出された場合の情報および菌を分析することで、適切な治療法や危険性などについて明らかにすることを目的としています。</p>
研究方法	<p>■研究期間 2021年11月1日～2023年3月31日</p> <p>■研究の対象となる方 2021年11月1日～2022年3月31日までに当センターにおいてグラム陰性桿菌が検出された方。</p> <p>■研究に用いる試料・情報の種類 情報: 病歴、身体所見、治療歴 等 上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(病歴、身体所見、治療歴等)を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p> <p>■外部への試料・情報の提供 研究データの登録は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。当センターから登録された方の匿名化対応表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。検出された菌株は当センターから共同研究機関に送付されます。</p> <p>■試料・データの新たな研究での利用について 本研究で取得した菌株は藤田医科大学で保管されます。これらの菌株は今後研究開発に使用するために藤田医科大学から希望する研究者等に分譲される可能性があります。 また研究終了後、本研究で収集したデータは個人の識別ができないよう措置を行った上で管理を行います。その後は他施設の研究者を含む新たな研究で利用する可能性があります。</p> <p>■利益相反について 本研究は、塩野義製薬の資金提供を受けて行います。</p> <p>この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 感染症科 馬渡桃子 東京都渋谷区広尾 4-1-22 TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604</p>